

平成27年3月13日  
中部地方整備局

『第9回 海の再生全国会議』名古屋市で開催しました。  
～約200名の参加者が豊饒な宝の海・伊勢湾の持続可能性について、熱心に議論～

1. 概要 : 平成27年3月4日（水）、中部地方整備局は名古屋市内の東建ホール・丸の内において、「第9回海の再生全国会議」を開催しました。会議には、全国各地から約200名の参加者が集結し、熱心な意見交換が行われました。
- 冒頭の基調講演では、名城大学特任教授 中田喜三郎氏から、伊勢湾（三河湾を含む）の海洋環境の変化を高い精度で予測・再現する「伊勢湾シミュレーター」の開発についてご講演いただき、『実域での環境影響評価の検討などに幅広く活用できる実用段階に達した』と説明がありました。
- また、話題提供では、中部地方整備局、愛知県水産試験場、三重県水産研究所、カルシア改質土研究会、日本福祉大学などから、最新の取組成果などを発表していただいたほか、東京湾、大阪湾、伊勢湾、広島湾で推進されている「再生行動計画」について報告がありました。
- 本会議の最後には、名城大学特任教授 鈴木輝明氏をコーディネーターとして、「豊饒な宝の海・伊勢湾の持続可能性」をテーマに、参加者全員で考えるセミナーを行い、「豊かさ」を損ねない対策である干潟・浅場・藻場の保全、再生の重要性や環境学習の必要性など幅広い意見が寄せられました。

2. 開催日時 : 平成27年3月4日（水）13:00～17:30

3. 会場 : 愛知県名古屋市 東建ホール・丸の内

4. 開催主体 : 国土交通省 中部地方整備局

5. 配布先 : 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、静岡県政記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

6. 問合せ先 : 国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課  
課長補佐 渡邊 TEL: 052-209-6329

平成27年3月4日(水)、中部地方整備局は、名古屋市内の東建ホール・丸の内において、「第9回海の再生全国会議」を開催した。会議には、全国各地から約200名の参加者が集結し、熱心な意見交換が行われた。

### 【基調講演】

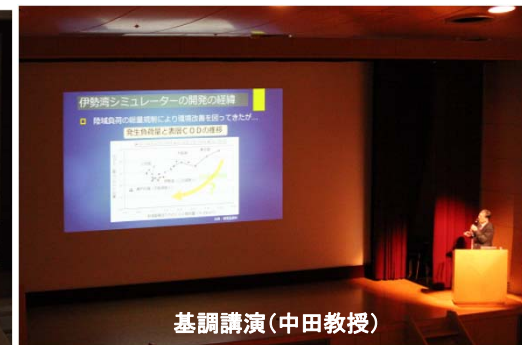
- ◆伊勢湾シミュレーターの開発について(名城大学 中田教授)
  - ・伊勢湾の環境の再現(貧酸素水塊、底泥内の物質循環など)
  - ・活用例(環境改善施策の予測)、調査・研究にあたっての留意点など

### 【話題提供】

- ◆伊勢湾再生を実現するための課題(中部地方整備局)
  - ・シーブルー事業、モニタリングブイによる現地観測(水質、気象)
  - ・海洋環境整備船「白龍」による浮遊ごみ回収実績など
- ◆三河湾におけるデッドゾーンの実態とその解消に向けて(愛知県水産試験場)
  - ・デッドゾーンの実態、水産資源への影響など
- ◆伊勢湾の貧酸素水塊の現状と干潟藻場再生(三重県水産研究所)
  - ・貧酸素と稚貝密度の関係、干潟再生材料(土砂)の確保など
- ◆浚渫土砂の活用方法について(カルシア改質土研究会)
  - ・海域環境修復における課題、実海域への適用など
- ◆海にかかわる環境学習のしくみづくり(日本福祉大学 千頭教授)
  - ・なごや環境大学、共育講座「伊勢湾の水環境について考えよう」など



開会挨拶(海野副局長)



基調講演(中田教授)



伊勢湾の取り組み(中部地整)



熱心に聴講する参加者

### 第一部 【各湾の取り組み】

- ◇東京湾再生行動計画(第二期)(関東地整)
- ◇大阪湾再生行動計画(第二期)(近畿地整)
- ◇広島湾再生行動計画(第2回中間評価)(中国地整)
- ◇伊勢湾再生行動計画(第2回中間評価)(中部地整)

### 第二部 伊勢湾の持続可能性を考えるセミナー

- ◆基調講演者、話題提供者に対する提案書の提出
- ◆提案書に基づく、参加者全員による意見交換
  - ・底層DOの回復、流入負荷削減対策の限界、干潟・浅場・藻場の大規模再生など



伊勢湾の持続可能性を考えるセミナー



参加者からの意見